PowerCMS X × AI

PowerCMS X
今後の機能リリース

OpenSearch × RAG と MCPサーバーによる2つの活用アプローチ

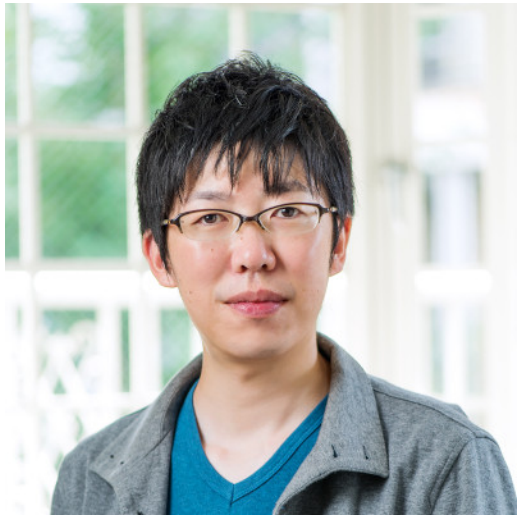
アルファサード株式会社
ソフトウェア2部　安倍 英樹

はじめに

自己紹介

安倍 英樹

ソフトウェア2部
リードエンジニア



- PowerCMS Xの開発初期から製品開発に携わる
- CMSの開発と、受託ウェブ制作案件の両方を経験
- Next.js × PowerCMS X（ヘッドレスCMSとして使う）など、新しいWeb構築手法も検証

製品開発と実際の制作・運用、両方の視点から
CMSの可能性を考えています

はじめに

なぜ今、CMSでAI導入を考えるのか？

PowerCMS XにAIを利用した機能はあるか？というご質問は多数いただきます

ウェブ制作（私たち）

設計・コーディング・テスト

一般業務

資料作成・調査・事務処理

CMSの活用・運用

コンテンツの検索・活用
登録・更新も例外ではない

では、CMSにAIを組み合わせると何ができるのか？

2つのAI活用アプローチを検討

01 第1部

情報を活用する

OpenSearch × RAG

蓄積されたコンテンツを検索し、
AIが質問に回答する。

02 第2部

業務を支援する

MCPサーバー

AIがCMSの機能を利用し、
記事作成などの業務を実行する。

01

第1部

AIを活用したチャットボット

情報を活用する —— OpenSearch × 検索拡張生成（RAG）
蓄積されたコンテンツをベクトル検索し、AIが質問に回答する



PowerCMS X × AI

CMSに情報はある。でも見つからない

利用者が知りたいことと、ページに書かれている言葉は、必ずしも一致しません。

利用者の質問

PowerCMS X ライセンス 種類

≠

ページのテキスト

PowerCMS X
ライセンス種別価格表

言葉（キーワード）が一致しない

言葉の一致だけでなく、「意味の近さ」で探す仕組みが必要になります。

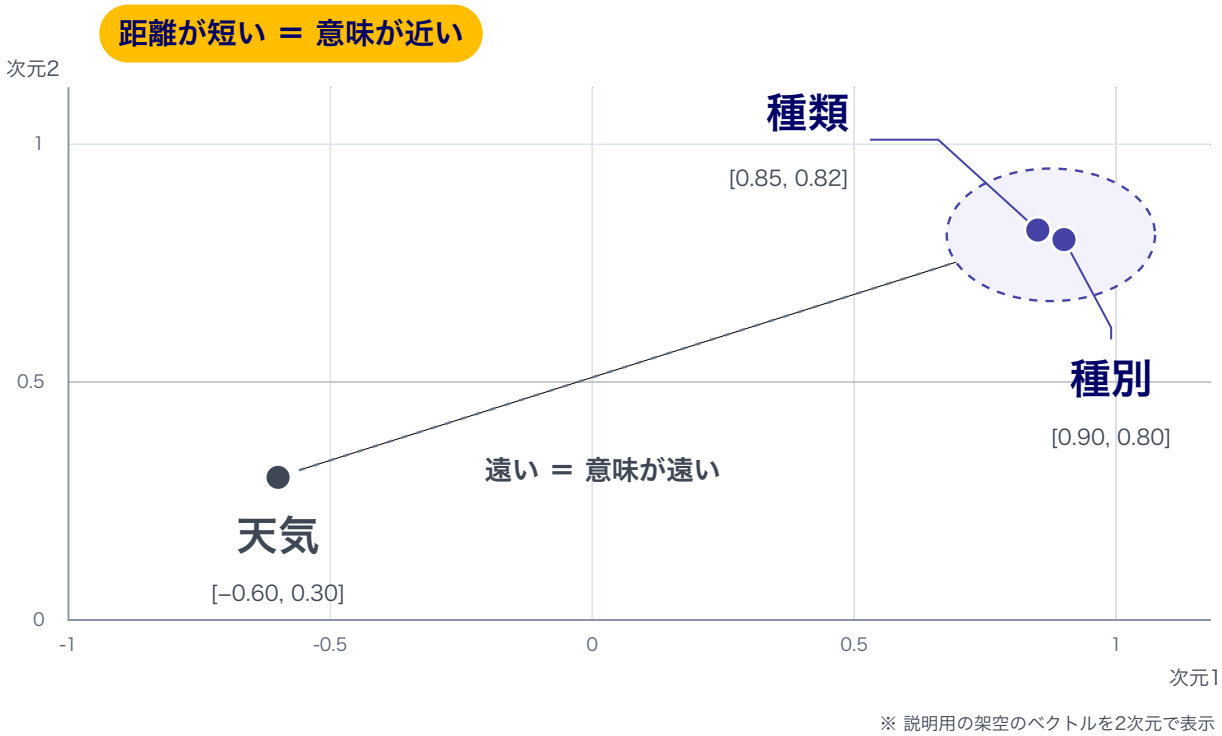
「意味の近さ」で検索するとは？

content

これから PowerCMS X の導入を検討している方から、すでにご利用いただいている制作者・ウェブ担当者の皆様までを対象に、PowerCMS X の基本機能や今後の機能リリース、実務で役立つ活用方法をオンラインセミナーで詳しくご紹介します。開催概要イベント名[PowerCMS X 最新動向ウェビナー] PowerCMS X　AI 新機能の展望 & アクセス解析ツールMatomoとは？開催日時2026年11月11日 水曜日 13時00分～14時30分 ※ セミナー後の質疑応答などの時間も含みます参加方法このページ下部のフォームからお一人ずつお申し込みくださ

embedding

0.022103231, 0.03416925, 0.01751174, -0.0033940435, 0.03465738, -0.037159055, -0.055250455, 0.03551161, 0.027808277, -0.027335398, 0.06455547, -0.024208302, -0.010060098, -0.04185733, -0.015879547, -0.0030851474, -0.052748777, 0.011028735, 0.0042025126, -0.017374452, 0.0110897515, -0.02896759, -0.010754161, 0.015650736, 0.015467687, -0.017313436, -0.0007193275, 0.022804921, 0.07041306, -0.001996384, -0.010899074, -0



※ 説明用の架空のベクトルを2次元で表示

文章をたくさんの数値の並び
（ベクトル）に変換して保存します。

- 文字が違っても、ベクトルが近ければ「意味の近い言葉」として見つけられます
- OpenAI APIなどを通じて、文章のベクトル化を手軽に利用できるようになりました。

CMSのコンテンツを、あらかじめベクトル化しておく

CMSの記事など → ベクトル（数字）に変換 → OpenSearchに保存

開発中のプラグインを利用して
コンテンツを編集する度に文章を数値の並びに変換し、
OpenSearchに送信して保存します



「意味の近さ」で検索し、AIチャットボットで表示



- 自然な文章で検索し、回答をAIが簡潔にまとめてくれるので、
  検索結果の一覧からいくつもページを開いて確認していく必要がなくなります
- CMSにあるコンテンツをベースに回答するので、正確な情報を提供できます
  （コンテンツを充実させていくことが重要になる）

※チャット形式ではなく、一般的な検索結果一覧表示も可能です

デモ

チャットボットのデモ

これからご覧いただくこと

1. 質問を入力する
2. 回答が生成される
3. 関連記事・出典で根拠を確認する

チャットボットにかかる費用

以下のサーバー・サービス利用料が必要となります

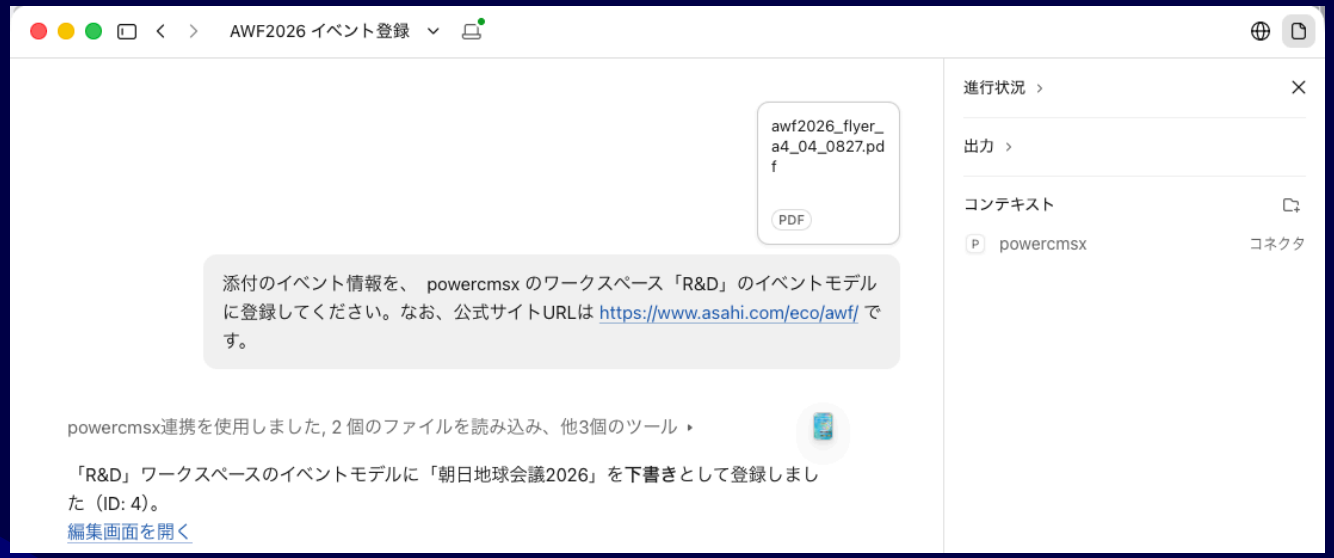
1. AWS OpenSearch（またはEC2などでセルフホスティング）
2. OpenAI API

02

第2部

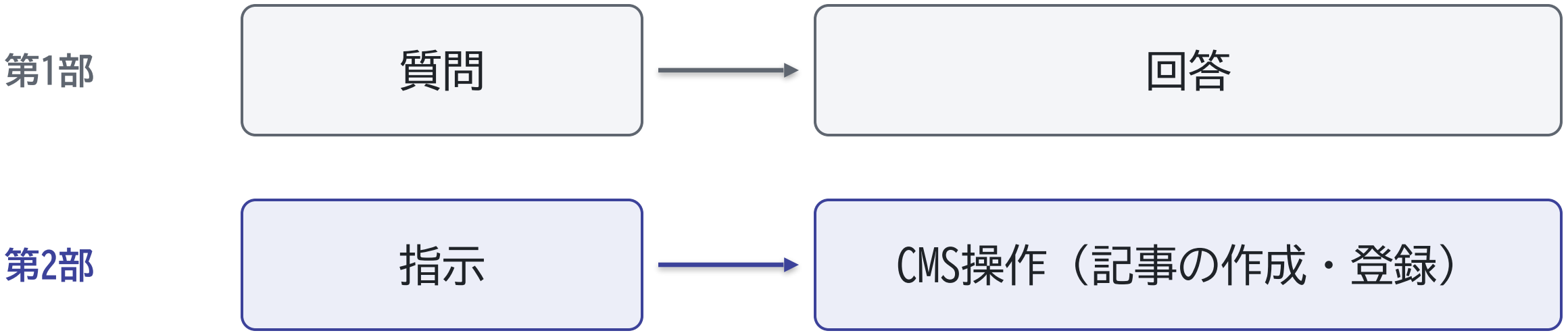
AIを活用したコンテンツ作成

業務を支援する —— AIがCMSの機能を使い、記事作成などを実行する



CMS操作業務の実行

コンテンツ生成だけでなく、コンテンツ作成業務まで支援できたら？



AIからCMSを操作するには仲介役がある方がベター

生成AIは文章を作れますが、CMSにログインし、
画面を理解してコンテンツを操作するのは上手く行かないかもしれない

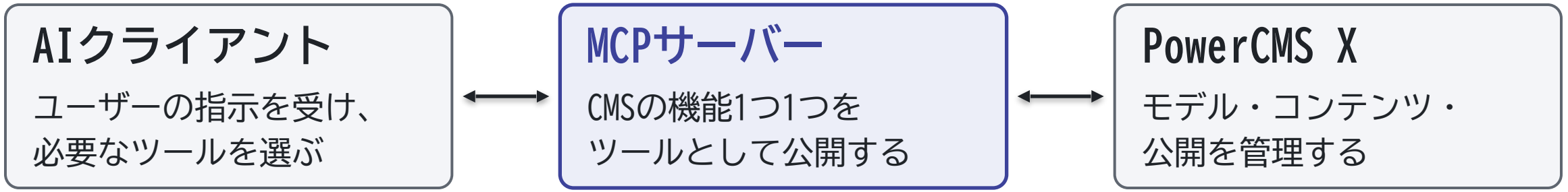
※Claude Opusなど結構上手いこと操作してくるモデルがある感じもしつつ…

AIに任せるために必要なこと

- CMSのAPI（外部から機能を呼び出す窓口）を扱う
  - プログラム的に扱いやすい形式にする
- 認証と、操作できる範囲を適切に制御する

MCPサーバープラグインの役割

MCP（Model Context Protocol）：AIと外部の機能をつなぐ標準的な接続方式



MCPサーバーが提供するツールの例

情報を取得する	作成・更新する	公開を制御する
モデルの一覧・構造、 コンテンツの一覧・詳細	コンテンツの作成・更新	公開・公開の取り消し

デモ PDFを読み取り、イベントを登録する

デモの流れ

1. PDFをAIに渡す
2. イベント名・日時・会場・概要を抽出する
3. MCPでツールを呼び出して
   PowerCMS Xのモデル・フィールドを調べる
4. MCPでツールを呼び出して記事を作成する
5. 管理画面で登録結果を確認する

見ていただきたい点

- PDFを読むだけでなく、
  CMSの構造に合わせてデータを作る
- MCPを介して
  CMSの機能を呼び出している
- **CMSの入力が苦手な人でも対話で
  容易にデータの入力ができる**

MCPサーバーによって広がるCMS活用

AIとCMSを接続することで、さまざまな業務への応用が考えられます。

コンテンツ登録	AIの画面に文章を渡したり、 PDFやWordなどの資料から記事を作成
コンテンツ更新	既存記事を検索し、修正案を作成・反映
コンテンツ管理	記事を検索して操作
多言語展開	既存記事を翻訳し、言語別コンテンツを作成
外部サービスとの連携	他のシステムから取得した情報をCMSに登録

※MCPサーバーが適切なツールを提供している場合の活用例であり、
　すべてが現在の実装で可能という意味ではありません。

補足：WebMCPの策定が進んでいる

HTML属性やJavaScriptでWebMCPの実装を編集画面に追加すると、
ユーザーがその編集画面を開いている時にAIが編集画面を利用しやすくなるような仕組み



ホーム › Docs › AI in Chrome › WebMCP とエージェント

この情報は役に立ちましたか？

WebMCP

Alexandra Klepper　François Beaufort　Kasper Kulikowski

公開日: 2026 年 5 月 18 日、最終更新日: 2026 年 10 月 7 日

WebMCP は、AI エージェント用の構造化ツールを構築して公開するためのウェブ標準案です。WebMCP は JavaScript を提供し、HTML フォーム要素にアノテーションを付けることで、エージェントがページ機能とどのようにやり取りするかを正確に把握し、ユーザー エクスペリエンスをサポートできるようにします。これにより、エージェントの作動のパフォーマンスと信頼性が大幅に向上します。

重要な用語: 作動とは、エージェントが手動のマウスクリックやテキスト入力をシミュレートする行為です。これは、人間のユーザーがウェブサイトを操作しているかのように行われます。これらは、リンクのクリックやフォームへのコンテンツの入力などの単一のタスク、または購入の完了などの複雑なタスクです。

AI エージェントは比較的新しいテクノロジーです。人間のユーザーが、非常に複雑で技術的なタスクをより適切に完了できるように支援します。WebMCP は、エージェント タスクの完了精度を高め、プログレッシブ エンハンスメントとして追加できます。

WebMCP | AI in Chrome | Chrome for Developers

https://developer.chrome.com/docs/ai/webmcp?hl=ja

今後の動向を注視し、対応を検討してまいります

まとめ

CMSのコンテンツと業務をAIにつなぐ

OpenSearch × RAG 情報の活用	蓄積された情報を検索し、質問への回答にAIを活用する
MCPサーバー 業務の支援	CMSの機能をAIから利用し、 コンテンツ作成などの業務を支援する

新しい技術とCMSを組み合わせ、CMSの可能性を広げていきたい

必要な情報を、より多くの人に届けること。
そして、その情報を届ける人の仕事を支えること。
新しい技術とCMSを組み合わせながら、そのための仕組みをこれからも考えていきます。

まとめ

プラグインのリリース予定

- SearchConnectプラグイン（仮称）
- ModelContextProtocolプラグイン

来年春を目処に詳細をお伝えできるようにいたします。
また、技術的な話等を今後ブログで公開する予定です。
ぜひご期待ください。

ご意見・ご要望等ございましたら、ぜひお聞かせください。

ご清聴ありがとうございました